



令和3年9月30日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学
株式会社ブリヂストン

東北大学とブリヂストンが共創拠点を設置して デジタル人財育成プロジェクトを開始

【発表のポイント】

- 東北大学とブリヂストンは、産学共創の連携拠点「ブリヂストン×東北大学共創ラボ」を設置
- 東北大学の最先端な研究教育を駆使し、高度スキルを持つデジタル人財育成に取り組む

【概要】

国立大学法人東北大学(所在地:宮城県仙台市、総長:大野 英男、以下「本学」)と株式会社ブリヂストン(所在地:東京都中央区、取締役 代表執行役 Global CEO:石橋 秀一、以下「ブリヂストン」)は、2021年10月1日より、本学内にブリヂストンとの産学連携拠点となる共創研究所^{*1}「ブリヂストン×東北大学共創ラボ」を設置し、ブリヂストンのDX(デジタル・トランスフォーメーション)を支えるデジタル人財を育成するための共同プロジェクトを開始します。^{*2}

本学における最先端のデータ科学をはじめとした多様な研究教育で培われた指導力と、課題解決型学習ノウハウを駆使した実践的な独自プログラム、そして参画する研究室との共同研究や交流を通じて、高度なスキルを持つより実践的なデジタル人財を育成します。

プロジェクトの期間は2021年10月から2024年9月までの3年間で、延べ40名程度の人財育成を予定しています。

【詳細説明】

東北大学は、「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」の理念の下で、世界をリードする研究成果を挙げ、日本を代表する総合研究大学として発展を遂げています。

特に、人工知能(AI)に代表されるように、社会のデジタル化が加速し、巨大で様々なデータが活用されて新たなイノベーションが生み出される時代において、AI・数理・データ科学(AIMD)に関わる研究力と、それを活用した社会課題解決や事業機会拡大に取り組み人財育成を重視しています。これは政府が強化している AI 社会実装を促進する「AI 戦略」「AI 人材育成」などの重点政策と連動しています。

例えば、AIMD を基盤とした文理を横断する豊かな学識と高度の専門的知識・技能に基づいて、各領域で独創的な研究を行っています。また、教育では、AIMD の基礎教育から高度プロフェッショナル養成まで、学部横断の一貫したプログラムを実践しています。全新生に AIMD リテラシー学習を提供し、文系理系を問わず専門性と AIMD スキルとのダブルメジャーが獲得できます。そして、対象を社会人へと拡大しています。

本プロジェクトでは、全学のリソースを最大限に活用できるように共創ラボを共同で運営し、ブリヂストンが派遣する個人の能力や課題意識に応じて、必要な教育プログラムと学習コンテンツの提供や研究室との共同研究と交流など、密接な関係を重視したデジタル人財育成を図ります。

一方、ブリヂストングループは、「2050 年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」をビジョンとして掲げ、中期事業計画(2021-2023)^{※3} を実行しています。その中で、これまでゴムという難しい素材を扱う現場で長年培った匠の技と膨大なデータ、すなわち強い「リアル」に「デジタル」を組み合わせて、「より大きなデータで、より早く、より容易に、より正確に」、「断トツ商品」・「断トツソリューション」を開発、展開することで、新たな社会価値・顧客価値を提供する、ブリヂストン流の DX を推進しています。

今回のプロジェクトは、ブリヂストン流の DX を担うデジタル人財として、AI やアルゴリズムの企画開発を通じてソリューションビジネスや研究開発の中核を担う「AI/アルゴリズムエキスパート」と、ビジネスの現場で課題を抽出し、デジタル技術を用いたソリューションの提案につなげることができる「ソリューションフィールドエンジニア」の育成を目的とするものです。

国立大学法人東北大学 理事・副学長(企画戦略総括担当、プロボスト、CDO)

青木孝文のコメント

東北大学は、「産業の AI シフトを後押し」しています。国が AI 戦略を推進する中、本学が得意とする科学とデータに基づく文理融合の総合知を産業の競争力向上につなげるべく、あらゆる産業の DX を加速することが本学の重要な役割であると認識し、従来になかった産学連携に取り組んでいます。今回はグローバルに活躍するブリヂストンの DX に貢献できることを大変光栄に感じております。これを契機に、本学はさらなるスピード感とやりがいを持って産業の変革を支援し、新たな社会価値を生み出していく所存です。

株式会社ブリヂストン CDO・デジタル IT 基盤統括部門長 増永明のコメント

ブリヂストングループでは、社会価値・顧客価値を提供し続けるサステナブルなソリューションカンパニーへと進化していくためにはビジネスの DX が急務と考え、これを支えるデジタル人財の育成を進めています。“新たな社会に向き合える AI 人材育成・輩出加速”に取り組まれている東北大学との産学連携は、ブリヂストン流の DX を加速する上での大きな一歩になると大変嬉しく思っております。最先端の研究教育の場で、東北大学の研究者や学生と当社従業員が、ビジネス最前線の DX のテーマに共に取り組むことで、新たな社会価値・顧客価値の共創にもつながることを期待しています。

※1 東北大学産学連携機構 共同研究や人材育成などの共創活動を企画・実施するための連携拠点

https://www.rpip.tohoku.ac.jp/jp/information/kyoso_kenkyu/

※2 2021年9月30日 株式会社ブリヂストン発表のニュースリリース

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2021093002.html>

※3 ブリヂストン 中期事業計画(2021-2023)進捗

<https://www.bridgestone.co.jp/ir/library/strategy/index.html>

【お問い合わせ先】

東北大学 オープンイノベーション戦略機構

担当 石川

電話 022-718-0350

E-mail oi-inquiry@grp.tohoku.ac.jp

ブリヂストン

<報道関係者>

パブリックリレーション部門 商品・技術広報課 電話 03-3836-3333

<お客様>

お客様相談室 電話 0120-39-2936